

平成29年第2回黒部市議会6月定例会
一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	新樹会 辻 靖 雄	1 (仮称)くろべ市民交流センターの建設推進について (1) 総額約28億円の裏付けと年間の維持管理費は (2) 事業スケジュールの前倒しは可能か (3) 駐車場の100台は本当に大丈夫か (4) 駐輪場は何台で、バス停留所の確保は (5) 3階、4階の図書館機能に県産材の使用は (6) 三日市公民館の施設「陶芸教室」の移転対応は (7) 避難所施設としての対応は (8) 図書館の2館体制の運営は (9) 施設運営で使用料調整の検討は (10) 運営スタッフの人材確保と人材育成計画は	市 長 教育部長 教育部長 教育部長 教育部長 教育部長 市 長 教育部長 教育部長
		2 地元大手企業の多角的事業に対する本市の対応策について (1) YKK本社機能の一部移転の効果は (2) R(研究)andD(開発)設立の影響は (3) 新幹線駅のビジネス利用客の実情は (4) 公共交通のバス南北線(循環)の充実促進は (5) 産業観光振興の拠点「センターパーク」の現状と展望は (6) パッシブタウン第3期街区竣工後の一般公開はあるか (7) あいの風黒部駅周辺の「K-TOWN」の完成は (8) スポーツの陸上・サッカー・女子バレーの取り組みは (9) 演劇「シアターオリピックス」の黒部開催の計画は	市 長 市 長 総務企画部長 総務企画部長 産業経済部長 市 長 市 長 市 長 市 長

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
2	新風の会 成 川 正 幸	1 人口問題について (1) 富山市と滑川市などいくつかの自治体が黒部市に移住する人数より、移住される人数が多いのはどんなことが考えられるのか伺う (2) 今後、PR方法や他自治体に負けない制度づくりも含め、施策検討する必要があるのではと考えるがどうか伺う (3) 黒部市内の地域別の人口ビジョンを示し、行政だけで考えるのではなく、市民全体で自分たちのまちを考える事が重要だと思ふがどうか伺う	総務企画部長 総務企画部長 市 長
		2 商工業の振興と就労について (1) 新規事業支援も重要であるとした上で、既存の商店が廃業しないで頑張ろうと思えるような支援を継続的に行うことが出来ないかどうか伺う (2) 現在の市内有効求人倍率と障がい者・高齢者の市内雇用状況を伺う (3) 市内でも就職困難者も含む全ての方の職業訓練や就労に結びつけるために行う場所や仕組みづくりが必要だと考えるがどうか伺う	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長
		3 地域医療について (1) 在宅医療に関わる医師や看護師の現状はどうか伺う (2) 医療と介護の連携はどうか伺う (3) 在宅医療について市民に理解は得られているのか、また理解してもらうためにしていることは何か伺う (4) 退院から在宅に移行するときには病院職員とケアマネージャとの情報の共有が不可欠だと考えるが現状はどうか伺う (5) かかりつけ医(医療機関)と市民病院間の紹介・逆紹介件数の増加で連携強化を図る必要があると考えるが現状はどうか伺う (6) 今年3月に出された第2次総合振興計画の中間報告の中にも「地域医療の充実」とある。市として地域医療の現状と今後の方向性をどういう風に見ているのか伺う	市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民病院事務局長 市民病院長 市 長

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	新風の会 成川正幸	4 福祉総合窓口の設置について (1) 窓口は、対応する方の質が重要であるとの認識から、今後の窓口開設を目指して、今から職員の研修にチカラを入れてはどうかと思うが伺う (2) 相談が多様化し、かつ、家庭訪問の取組業務は国・県から市に移行してきており、ますます人員の確保が必要だと考える。今後、担当職員の増員なども検討していかないといけないのではと思うがどうか伺う	市民生活部長 市民生活部長
		5 健幸都市宣言について (1) 本市においても、「住民が健やかで幸せに暮らせる地域社会を目指すまち」を目指し「日本健幸都市連合」に加入し、健幸都市宣言を検討されてはどうかと思うが伺う	市長
3	日本共産党 谷口弘義	1 市立小、中学校教員の勤務実態と就学援助制度について (1) 教員の長時間勤務の悪化が文部科学省の調査で明らかになった。小学校教員34%、中学校教員58%が過労死ラインと言われる月80時間以上となっている。富山県議会で、県教職員組合が10月に実施した「2016年度勤務実態調査」では、月80時間以上時間外労働をしている教員が小学校で19%、中学校で53%になっていることが示された。市内の小中学校の教員の平均的な時間外労働の実態はどうか (2) 教員は残業代が支払われず、月8時間分の勤務に相当する「教職調整額」として、基本給の4%を全員に支給することが「給特法」で定められている。勤務実態から見て、4%支給されているから時間外勤務を残業として扱わないのが問題と考えるが、どうか (3) 教員に余裕がなければ、「子どもたちの教育に影響が出るのでは」と危惧をする。多忙化解消のためには教員を増やすことが必要だ。学校現場の実態を教育委員会が独自で調査し、多忙化解消のため教員を増やす事等、支援や協力をするべきと考えるが、どうか。現状を県、文科省に伝え改善を求めるべきと考えるが、どうか (4) 市は児童生徒に対する黒部市就学援助要綱を定めている。援助要綱の新入学児童生徒学用品費に対して市は、入学前に支給できないと議会で答弁された。今年3月31日の文部科学省初等中等教育局長より、新入学児童生徒学用品費等について、「中学校のみならず、小学校への入学年度開始前の支給も補助対象にできるよう交付要綱の改正を行う」と、各都道府県教育委員会教育長あてに通知が出された。市として就学前でも支給するべきと考えるが、どうか (5) 黒部市就学援助要綱の、援助を受けることができる費用のほとんどが国の定めた金額等になっている。子どもの貧困対策のひとつとして、市独自で上乗せの必要があると考えるが、どうか	教育長 教育長 教育長 教育部長 教育部長

■一般質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	小柳 勇人 (一問一答方式)	<p>1 カーター記念 黒部名水マラソン大会について</p> <p>(1) 6月3日、4日の両日を通して、市長の感想を問う</p> <p>(2) 6月3日、4日の両日を通して、教育長の感想を問う</p> <p>(3) 今大会の検証について、今後どのように進めるのか、その方法について問う</p> <p>(4) 2,800人を超すボランティアに協力頂き大会が成立している、このことを含め、さらに市民から愛される大会へと高めるために必要な現時点での課題について問う</p> <p>(5) 全国からランナーが参加された。さらに全国の幅広いランナーから愛される大会へと高めるために必要な現時点での課題について問う</p> <p>2 図書館について</p> <p>(1) 図書館の貸出冊数が増えている。特に宇奈月館では、平成28年度に年間34,338冊と、ここ数年増加傾向が続いている、その要因について問う</p> <p>(2) (仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想(案)の中で、平成23年に黒部市図書館協議会が報告した「黒部市立図書館建設基本構想」についてどのように検討されたのか、その経緯と内容を問う</p> <p>(3) 図書館が建設されることで、コラーレの図書室や学習ゾーンや市役所交流棟など学習スペースが新図書館に集中することが予想される。このことへの対応や現時点での検討状況について問う</p> <p>(4) 図書館建設にむけ、黒部らしい図書館として、郷土と歴史文化の継承をどのように推進されるのか、又、これからの保存方法としてデジタルアーカイブなどIT技術の取組について問う</p> <p>(5) 新しい図書館に求められる子育て支援機能について問う</p> <p>(6) 親しみやすい図書館、利用しやすい図書館の姿について問う。特に乳幼児や高齢者等にやさしく使いやすい図書館の姿とは</p> <p>(7) 新しい図書館へは、市民参画が必要と考える。他市先進事例は、市民団体や利用者が、計画時から参画して図書館の在り方について協議して建設後運営しているが、当市での現況と今後の進め方について問う</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	中村裕一 (一問一答方式)	<p>1 市民生活ステップアップについて</p> <p>(1) 市産業の活性化と有力な人材確保のための、県外出身の大学生の就職の機会を図る、インターンシップ事業についての現状について伺う</p> <p>(2) 三世代ハッピーサポート事業は、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられるよう、祖父母同居の三世代支援による子育ての充実を図る内容である。昨年度の実績はどうだったか。また、今年近居(500m以内)の場合と孫守り支援が新規として追加されたが、申し込みの現況はどうか</p> <p>(3) くろべで住もう移住、定住サポート事業について、全国各自治体に移住者獲得に向けた取り組みを展開する中で、選ばれる黒部市を目指した定住促進の施策である。今年度、昨年と比べ1.8倍も事業費が増額されているが、今年の経過及び今年度の現状はどうか</p> <p>(4) 第2次黒部市総合振興計画の市民アンケートの中で、市内、中、高校生の市に望むこと(改善点)として、娯楽施設など楽しい場所が少ない、(53.9%)店が少なく買い物がしにくい、(45.3%)働きたいと思う場所が少ない、(35.8%)とあげている。にぎわいのあるまちを望む若者が多い。この現状について市としての施策について伺う</p>	<p>産業経済部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 防災について</p> <p>(1) 今年2月、地区の住宅火災の後、地区の方からサイレンが鳴らなかった質問を受けたが消防サイレン吹鳴の終了についての理由は、又、夜間の火災で家主が焼死であったが、住宅用火災警報機はあったのか、又、市の火災警報器の設置状況は</p> <p>(2) 住宅用火災警報機の設置の義務づけから10年経とうとしているが、機器の作動などの点検も家庭で必要と思われる。広報などによる市民への啓蒙が必要ではないか</p> <p>(3) 誘拐事件などの犯人発覚の糸口は、防犯カメラの映像から割り出された事例が多い。市の屋外の防犯カメラの設置の現状はどうか。また、今後設置の見通しは</p> <p>(4) 運転中とか勤務中に突然起こる病気の対応について、AEDの活用があるが、市の活用状況について伺う。また、救急隊の到着までに現場に居合わせた人による応急手当(AED)の実施状況はどうか</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>総務企画部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	村井洋子 (一問一答方式)	<p>1 宮野山の活性化について</p> <p>(1) 桜まつりや気候のよい季節に、仮設のドッグランを設置し、多少の約束事を決めて、愛犬家たちに利用を勧めることを提案したい。宮野山への誘客を図るひとつではないか</p> <p>(2) 桜まつりやホットフィールドなど、電気が必ず必要で、そのたびに多額の経費がかかるのも、他のイベントを起こそうにも利用しにくい要因ではないのか。小水力など自然エネルギーによる発電も考え、もっと利用しやすい環境整備についての考えを問う</p>	<p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>
		<p>2 「赤ちゃんにやさしい病院」について</p> <p>(1) 出産後、母子へのサポートはどのように行われているか。母乳育児への効果的な指導は、行われているか</p> <p>(2) 単身家族の母親たちへのサポートは十分といえるか</p> <p>(3) 「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けることについて、どのように考えるか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民病院長</p>
4	川上浩 (一問一答方式)	<p>1 放課後児童クラブの運営実態と今後の取組について</p> <p>(1) 平成29年4月からの各地区放課後児童クラブの運営状況を問う(事前要求する低・中・高学年別登録児童数、支援員数、補助員数、運営費などの一覧をもとに)</p> <p>(2) 平成27年度から放課後児童健全育成事業は市町村が行うこととなったが、放課後児童クラブの運営は各地区自治振興会が主体となった運営協議会が担っている。平成29年度から支援員、補助員の時給など働く環境について一元化整備を進められているとのことであるが、その状況について問う</p> <p>(3) 運営の重要事項に関する運営規程を定める、職員、財産、収支及び利用者の処遇状況を明らかにする帳簿の整備などが運営主体に求められている。事務量も増しており、専門の事務員雇用の必要性が生じている。このような状況をどのように捉えているのか</p> <p>(4) 放課後児童クラブは、発達異なる多様な子供たちが一緒に過ごす場であり、発達に合わせた対応により集団生活に馴染ませることが求められているが、小学校のような専門的な職員もいない中で、このことが大きな課題となっていることをどのように考えているのか</p> <p>(5) 放課後児童クラブの目的が保護者の働きやすい環境の整備とは言え、運営する側とすれば小学校との連携が不可欠である。教育委員会部局に置き連携をとり易くするべきではないか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	川上 浩 (一問一答方式)	<p>2 「立山黒部 世界ブランド化」への取組について</p> <p>(1) この推進会議に黒部市はどのように関わっているのか。また今回の議論についてどのような思いで受け止めたか</p> <p>(2) パノラマ展望ツアーの商品化が始まって2年目を迎えるが、さらにその上部軌道の延長上を観光商品化できることは、黒三発電所と高熱隧道、仙人ダム、更には黒四発電所へとつながり、黒部の大自然と時代を背景とした電源開発の歴史と現代社会につながるダイナミズムのテーマパークとなりえるのではと考えるがいかがか</p> <p>(3) 宇奈月温泉の着地型商品開発を観光局が積極的に関わっていくとのことであるが、体制整備はできているのか。また県との連携もあり、市としても大いにかかわっていく必要があると考えるがいかがか</p> <p>(4) 富山湾がユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に平成26年10月に加盟した。宇奈月側尾根を回り込んだ富山湾側の展望は、まさに「世界でもっとも美しい湾」を山側から展望するにはベストポイントである。林道整備とともに世界ブランド化へのロープウェイ構想として推進会議に提案してはいかがか</p>	市長 市長 市長 市長
5	谷口 弘義 (一問一答方式)	<p>1 黒部市の海岸沿いの松枯れ対策について</p> <p>(1) 片貝川右岸のおおしまキャンプ場から黒部川左岸の荒俣地域にいたる飛砂防備保安林や民有地に松枯れの被害木が多く見られる。飛砂防備保安林やそれに準ずると思われる海岸沿いの松林はどのような役割を持っていると考えるか。松枯れの被害木は飛砂防備保安林内、保安林外、総計で何本ぐらいあるのか</p> <p>(2) 県は今年度と来年度の2カ年を、海岸林及び周辺のマツを対象として、重点対策区域を設け、松食い虫の被害対策等を実施する制度を新たに創設した。市もこの制度を利用して徹底した対策を講ずる必要があると考えるが、どうか</p> <p>(3) 松枯れ被害拡大を防がなければならない。飛砂防備保安林に指定されている場所と、指定地以外では対応が違うと思うが、市ではどのような対策を取られるのか</p> <p>(4) 荒俣地域で伐倒処理された現場を見たが、あの処理の仕方では不十分と考える。過去おおしまキャンプ場で行った切り株にシートを掛け、害虫の飛散を防ぐ処理の仕方を参考にすべきと考えるが、どうか</p>	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>2 宇奈月ダムと出し平ダムの連携排砂について</p> <p>(1) 国土交通省は、宇奈月ダム湖の上流に溜まった石をダム下流に流す対策として、昨年石に発信器を埋め込んで移動調査をしたが、あまり移動がなかった。これまでのように宇奈月ダム湖に水をためた状態で、出し平ダムの土砂を流しても宇奈月ダム湖にある水で、水の運搬力が弱まり大粒径土砂の移動が困難と思うが、どうか</p> <p>(2) 連携排砂が予想される時は、事前に宇奈月ダムの水位を一定度下げおき、排砂の時はいち早く排砂ゲートを開け、自然流下の状態にできるようにするべきと考えるが、どうか</p> <p>(3) 市長は、今年2月に行われた第41回土砂管理協議会で、6万m³の土砂が残ったことで、「今後の排砂の環境などに、悪い方に影響しないのか、土砂を残さないで流して、できるだけ翌年に持ち越さず悪い方に影響しないように、もう少し工夫してやっていく必要があるのでは」と発言された。土砂を残さないで流すことは必要である。国土交通省はそのために調査研究中である。市長が言われたように土砂を残さないで流すにはどうすべきなのか、市長の考えを聞きたい</p> <p>(4) 5月に行われた第42回土砂管理協議会で、国土交通省から一定の出水ごとに通年で常用洪水吐きゲートから放流することが報告された。このことは黒部川の自然を守るのに一定度役立つと考える。宇奈月ダムと出し平ダムが建設されるまで、黒部川は大雨の時には河原の石や土砂等を流し、その中で自然を守ってきた。連携排砂は雪解けの時期、梅雨の時期、台風や長雨の時期などの一定の出水時にきめ細かく行うことが、黒部川の自然をよみがえらせるのに有効と考えるが、どうか</p>	市長 市長 市長 市長
6	辻泰久 (一問一答方式)	<p>1 農業問題</p> <p>(1) 高齢化、担い手不足について</p> <p>(2) 放棄田の現状は</p> <p>(3) 集落営農組織の現状と今後の課題は</p> <p>(4) 本年度、来年度の水稲の生産調整は</p> <p>(5) TPP参加の見直しを</p> <p>(6) 新品種「富富富」を支援する上で行政の役割は</p>	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	辻 泰久 (一問一答方式)	2 移住定住について (1) 昨年度、県外からの移住者は何人か (2) 本市では移住支援にどのような取り組みをしたか (3) 昨年度、富山県に移住した人の年代は20代～40代で84.8%であるが、本市ではどうであったか (4) 富山県への移住は08年度～13年度までは200～300人前後で推移していたが14年度以降前年度をそれぞれ50人以上上回るペースで増加している本市ではどうであったか (5) 北陸新幹線開業後埼玉や群馬からの移住が目立つというが本市はどうか (6) 総務省の言っている「関係人口」のような「新たな仕組み」について (7) 実際の移住者において移住者目線で企画提案などをしてもらえばどうか (8) 移住希望地ランキングで富山県が年々順位を下げているが市長の見解を問う	総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 総務企画部長 市長 市長 市長
7	高野早苗 (一問一答方式)	1 少子化対策応援について (1) 子育て世代包括支援センターは開設して2年になるが、利用状況について伺う (2) 子育て前の若い世代に対しての支援について伺う (3) 今年度、新たに産後ケア事業がおこなわれるが、本市の現状、及び事業内容について伺う (4) 学童保育における指導者、並びに利用する側の基準について伺う (5) 学童保育における指導者の処遇について伺う (6) 学童保育の連携(学童保育と学童保育、学童保育と学校)について伺う 2 全国植樹祭を終えて (1) 全国植樹祭を終えての所感を伺う (2) 東布施地区の子どもたちが関わる“みどりの少年団”の復活について伺う (3) 田舎会場での1,000本の植樹(優良無花粉スギ「立山森の輝き」)を今後どう繋げていくのか伺う (4) 当市の人工林は約2,168haであり、そのうち8割が利用期をむかえている人口林の循環利用を促し、森林資源利活用をどう進めるのか伺う	市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市長 市長 産業経済部長 産業経済部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	柴沢太郎 (一問一答方式)	<p>1 津波防災について、今後の対応を問う</p> <p>(1) 過去に起きた地震での津波被害は、浸水想定も含め大きな目安となることが考えられる。過去黒部市での記録・文献で確認されているのか</p> <p>(2) 富山県津波シミュレーション結果について。津波被害想定における黒部市での死者数が糸魚川沖断層1名 富山湾西側断層41名 呉羽山断層帯6名とある。どのような被害で亡くなられることを想定した結果であると考えるか</p> <p>(3) 木造家屋が集積している沿岸地域での津波火災の発生防止に関して、今後検討をすべき課題であると考えるか</p> <p>(4) 今後、様々な対応や対策が考慮されていると思うが、それ以前に防災ラジオが聞き取り難い・聞こえないといった課題がある。真っ先にこの課題解決が急務であると考えるか、この対応について伺う</p> <p>(5) 津波ハザードマップ見直しについて。今後、それに基づき、様々な対応を推し進める必要があると考えるか</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>
9	橋本文一 (一括方式)	<p>1 「主要作物種子法」の廃止について</p> <p>(1) 国が良質の種子を供給する義務を放棄することは、食料の安定供給に責任を持たないことを意味する。今後、民間企業が自由に主要農作物の種子開発ができるようになる。種子が企業のものとなり、外資系企業も参入しやすくなる。そのことにより供給が不安定となることや主要農作物の品種の減少、さらに「遺伝子組み換え作物」が拡大していくと思う。「主要作物種子法」の廃止についてどのように受けとめるか</p> <p>(2) 種子は国家戦略物資であり、国の責任で守るべきものである。種子の国内自給を維持・向上させることは国の責務である。種子法は多様な環境にある地域農業を支えてきた。種子法廃止は、これまで都道府県による種子の生産・普及の仕組みを弱体化させるものである。種子を生産している本市として、今後も国・県が責任を持って優良な種子の生産、確保、普及を国・県要望していくべきと思うが、どうか</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	橋本文一 (一括方式)	2 農業について (1) コメの直接支払交付金の廃止で農家の収入が激減することが予想される。米価の維持に対する取り組みが必要と思うが、市としての対策は (2) 意欲ある農業者が安心して農家経営が続けられる経営所得安定対策等が必要と思うが、どうか。また大豆や麦、飼料用のコメ・米粉用コメなどの生産拡大を支える為には何が必要と思うか (3) 戦略作物等へ更なる支援が必要と思うが、市としての取り組みと支援はどうか (4) 道の駅「(仮称)くろべ」の事業化向け準備が進められている。「道の駅」には地元産生鮮食品が欠かせないと思う。また今後の農家等の収入拡大につながると思う。産業経済部として、現在の取り組み状況はどうか	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式